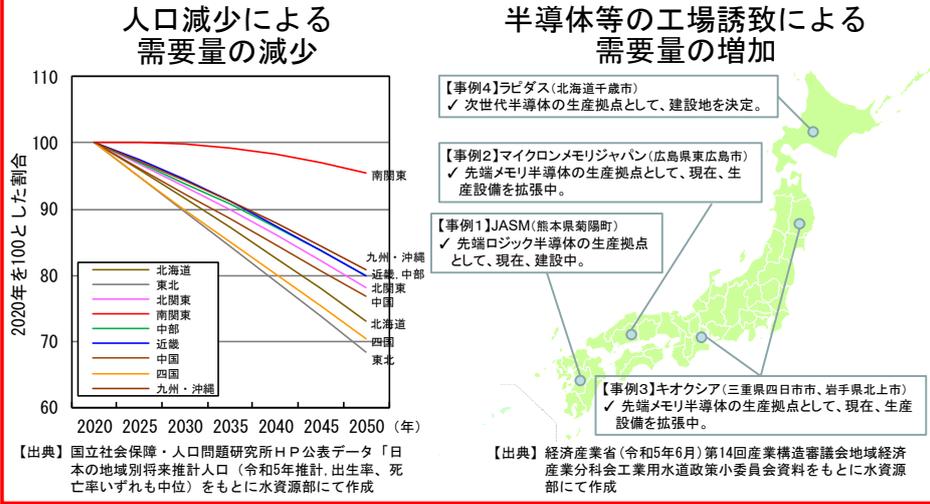


水需給バランス評価の手引きの位置付けと活用

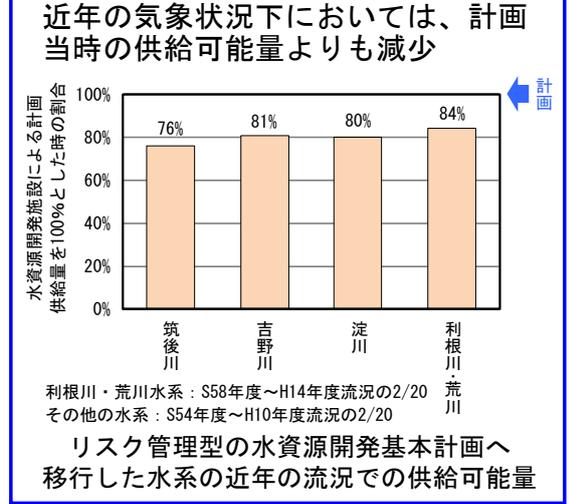
本手引きは、ダム使用权等を有する利水者がダムや堰等の施設管理者と連携して水需給バランスを評価するにあたって、水資源開発基本計画策定における水需給バランス評価手法を活用又は参考とできるように手引き化したものである。

これにより、水の需要量にかかる情勢の変化や近年の気象に対し、ダム容量等を最大限活用する上で前提となる利水者単位での水需給バランスを把握することを目的とする。

水需要量に関する変化



供給可能量に関する変化



需要の変動リスク

供給可能量の低下リスク

<主な構成内容>

- 不確実性を考慮した水需要量の推計手法（水道用水、工業用水）
- 計画規模以上の渇水時の供給可能量の算定手法
- 水需給バランスの評価手法
- 水の需要に関する情勢や利水者単位での水需給バランスの考え方などを「topic」として掲載

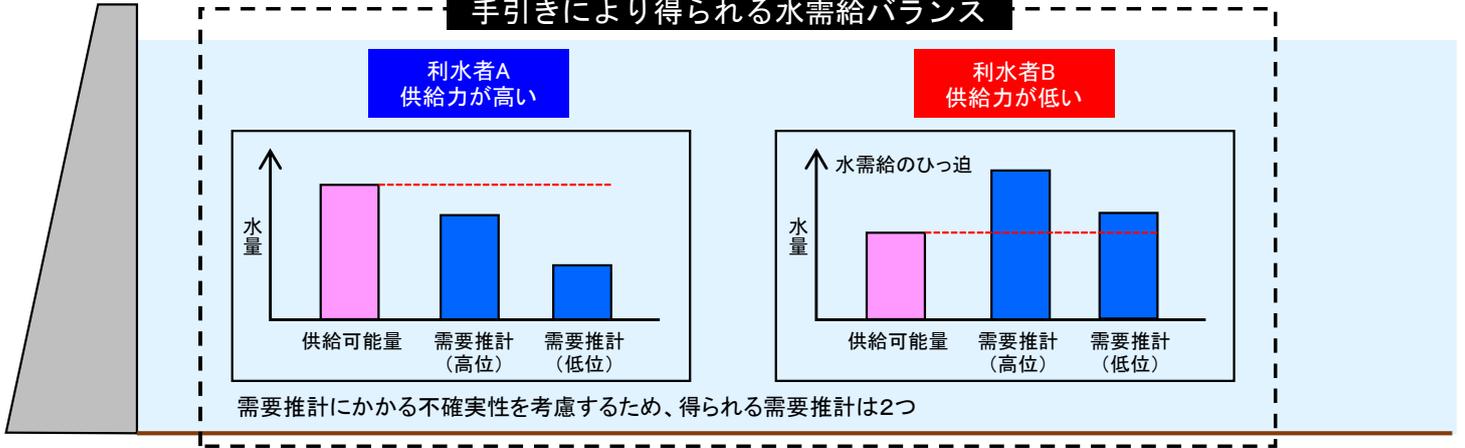
水需給バランス
評価の手引き

活用・参考

利水者がダムや堰等の
施設管理者と連携して評価

施設管理者等による情報提供
〔評価にあたって必要となる
ダム諸量データの提供など〕

手引きにより得られる水需給バランス



新たなニーズ等
（半導体工場、水力発電）

水需給バランス評価の結果

治水機能強化
（気候変動対応）

流域のあらゆる関係者による連携
（水利用の見直しなどにより既存ダム等を最大限に活用）

本手引きに関連する「リスク管理型の水資源政策の深化・加速化について（R5. 10. 13提言）」はこちらからご覧いただけます https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/water02_sg_000164.html

